

道東自動車道

新得地区冬期気象調査

特記仕様書

令和6年7月

東日本高速道路株式会社  
北海道支社 帯広工事事務所

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

- 1-1-1 調査等名 道東自動車道 新得地区冬期気象調査
- 1-1-2 道路名 道東自動車道
- 1-1-3 履行箇所 自)北海道 上川郡 新得町字新得 (STA. 1149+90)  
至)北海道 上川郡 新得町字新得 (STA. 1164+70)
- 1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目		単位	数 量	備 考
現地調査		式	1	
気象・雪氷状況調査		回	5	
定点気象観測	機器設置・撤去	箇所	1	
	機器損料	箇所・日	1 2 0	1 箇所* 1 2 0 日
調査計画・立案		式	1	
解析・取りまとめ		式	1	
調査打合せ		式	1	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）令和6年7月版とする。

### 1-3 履行期間

本業務は、共通仕様書1-1-3「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（別紙1）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から300日間

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から60日間

### 1-4 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-1-2-4「テクリスへの登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

(1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

### 1-5 資料の貸与

共通仕様書1-1-5「資料の貸与及び返却」に基づく貸与資料は、下表の調査等業務による成果品等である。

ただし、履行期間中の調査等業務について、その成果等の貸与予定日は次のとおりとする。  
 なお、貸与予定日までに成果品を貸与できない場合は、別途監督員と協議するものとする。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
管理用平面図 横断面 構造物図面	完成図	契約締結の日の翌日 より7日以内	電子成果品(TIF)
報告書等	当該区間にかかる供用路線建設 時の調査関連報告書	契約締結の日の翌日 より7日以内	電子成果品(TIF)
	北海道支社管内休憩施設概略検討	契約締結の日の翌日 より7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD等)
	道東自動車道 新得地区詳細測量	契約締結の日の翌日 より7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD等)
	道東自動車道 新得地区地質調査	契約締結の日の翌日 より7日以内	電子成果品 (PDF、2次元CAD等)

## 1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す、隣接又は関連の調査等業務については、下表のとおりである。

なお、履行期間中に関連調査等業務が増加した場合は、監督員の指示によるものとする。

調査等業務又は工事名	主な関連事項	予定工期	発注機関	受注者名
道東自動車道 新得地区橋梁構造検討	調査区間の重複	令和5年8月8日 ～令和6年9月30日	東日本高速 道路(株)	日本エンジニア リング(株)
道東自動車道 新得地区連絡等施設詳細設計	調査区間の重複	令和5年10月5日 ～令和6年11月27日	東日本高速 道路(株)	(株)片平新 日本技研
道東自動車道 自然環境等調査	調査区間の重複	令和6年4月1日 ～令和7年3月31日	東日本高速 道路(株)	(株)ネスコ・エ ン지니어リング北 海道

## 1-7 計画工程表

### 1-7-1 計画工程表の記載事項

受注者は、共通仕様書 1-14-1 「作業計画書の提出」に示す作業計画書の計画工程表の作成にあたっては次の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。

受注者は、完了時期の明示にあたって、発注者または監督員が行う協議や共通仕様書 1-22 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討し、計画工程表に記載するものとする。

なお、作業単位の設定は、下表を標準とするが、計画工程表の提出にあたって監督員と受注者とで協議のうえ、決定するものとする。

工種	単位	数量	備考
現地調査	式	1	
気象・雪氷状況調査	回	5	
定点気象観測 機器設置・撤去	箇所	1	
調査計画・立案	式	1	
解析・取りまとめ	式	1	
調査打合せ	式	1	

#### 1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は、共通仕様書 1-2-2 「打合せ」の実施時に、計画工程表に作業の実施状況を記載し監督員に報告するものとする。

なお、受注者は、前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-2-9-1 「契約変更」に準じた協議のうえ、必要に応じ共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。

#### 1-8 打合簿の作成及び提出について

受注者は、共通仕様書 1-2-2 「打合せ」にあたっては、打合せ前に打合せ項目を整理すると共に、打合せ終了後、速やかに調査等打合簿（共通仕様書様式第 1-4 号）を作成し、監督員に記載事項についての確認を得るものとする。

清書した打合簿は、電子メールによる伝達とし、受領者は受領欄に押印したうえで、発議者に電子メールで返送の上保管するものとする。

#### 1-9 履行報告

共通仕様書 1-2-4 「履行報告」に下記を追加する。

##### 1-2-4-1 工程の管理

- (1) 受注者は、共通仕様書 1-1-4-1 に規定する計画工程表（様式-1）を作成するにあたって、作業計画に影響する懸案事項がある場合は、その内容を明記するとともに、課題解決のための受発注者責任分担、対応者（監督員又は受注者）及び対応時期を明記するものとする。
- (2) 前項の規定に従い作成した計画工程表を、受発注者双方で確認し認識を共有するものとする。
- (3) 受注者若しくは発注者は、計画工程表に明記した事項に変更が生じた場合、速やかに記載事項を修正するとともに、修正した計画工程表を受発注者双方で認識し共有するものとする。

#### 1-10 合同現地調査

合同現地踏査は、調査等共通仕様書に規定されている受注者が行う現地踏査に発注者が同行して現地状況等の把握のほか、当該業務の課題及び契約内容について確認を行うものをいう。

合同現地踏査は、業務着手後速やかに行うことを原則とし、実施時期及び実施方法については受発注者協議のうえ決定するものとし、踏査に伴い確認した事項は調査等打合せ簿に記録し、受発注者で相互に確認するものとする。

なお、業務の追加・変更が発生した場合、又は共通仕様書に規定のない業務において発注者がその必要性を認めた場合は、合同現地踏査を実施するものとし発注者は必要な費用を負担するものとする。

また、合同現地踏査により新たな課題等が発生した場合は、必要に応じて計画工程表を見直すものとする。

#### 1-11 調査等実施中の安全の確保等について

##### 1-11-1 高速道路の近接作業

受注者は、調査等の実施に伴い供用中の高速道路に近接して作業を行う場合は、一般通行車両の運転の妨げにならないように注意して作業を行わなければならない。

#### 1-1-2 高速道路内への立ち入り

受注者は、調査等の実施に伴い供用中の高速道路内（路面）に立ち入ってはならない。やむを得ず立ち入りが必要な場合は、事前に監督員と協議し、その指示に従うものとする。

## 第2章 業務細部に関する事項

### 2-1 業務の内容

本業務は、道東自動車道（仮称）新得スマートIC及び（仮称）新得PA建設予定区域の冬期間の気象及び雪氷状況調査を実施し、気象特性の解析等を行うものとする。

### 2-2 気象調査

#### 2-2-1 現地踏査

現地踏査とは、調査地域における地形及び土地利用状況等周辺環境の把握・確認を行うものとする。また、定点気象観測機器の設置位置の確認も合わせて行うものとする。

#### 2-2-2 気象・雪氷状況調査

気象・雪氷状況調査とは、定点観測箇所以外の気象データ（気温・風向風速・積雪深）を調査するとともに、予定路線周辺の現道等の雪害状況（吹雪・地吹雪・吹き溜まり・雪崩）及び雪害防止対策状況等（過去の気象交通障害・現状の対策工）を十分把握し、高速道路計画の構造及び地形状況・土地利用状況から、予定路線周辺の斜面の積雪状況・吹き溜まり形状・雪崩状況などの観測、写真撮影等を行うことをいう。調査頻度については、12月中旬頃～4月下旬頃までの月1回程度とし、気象状況に応じて行うものとする。なお、併せて、調査時には定点気象観測機器の点検及び気象データの回収を行うものとする。

#### 2-2-3 定点気象観測

定点気象観測とは、対象地域内に気象観測機器を設置し、定点の気象観測を行うことをいう。観測地点及び観測地点数は、（仮称）新得スマートIC及び（仮称）新得PA建設予定区域内の1地点とする。

定点気象観測の観測期間は12月中旬頃～4月下旬頃までのうち120日間とし、観測項目は気温、風向風速、積雪深、降雪量とする。

また、気象観測機器の定点設置位置の選定は監督員の確認を得るものとする。

なお、定点気象観測の開始及び終了の時期の詳細は監督員と受注者とで協議して定めるものとし、定点気象観測に必要な費用については、以下のとおり機器の設置・撤去及び損料について計上を行うこととする。

##### （1）機器設置・撤去

機器設置・撤去とは、定点気象観測に使用する機器等の搬入設置し、調査後の撤去を行うことをいい、これらの実施に必要な整地等全ての費用を含むものとする。

##### （2）機器損料

機器損料とは、定点気象観測に必要となる気象観測機器損料のことをいう。なお、観測計器については、下表の仕様と同等以上とすることから、使用に際しては、事前に機器の仕様等を明記し、監督員の確認を得るものとする。ただし、監督員が認める事由により機器が大幅に変更となる場合には、別途監督員と協議するものとする。

測定項目	観測機の仕様	備考
風速・風向	気象庁の検定に合格した微風向風速計またはこれと同等以上の性能を有するもの	
気温(温度)	気象庁の検定に合格したものまたはこれと同等以上の性能を有するもの	
積雪深	・積雪：100cm以下、測定精度：±2cm ・積雪：100cmを超える場合、測定精度：積雪深さの2%	最小表示目盛は1cm以下

#### 2-2-4 解析・取りまとめ

解析・取りまとめとは、現地踏査、定点気象観測、気象雪氷状況調査により得られたデータを以下に示す項目毎に、取りまとめ・解析することをいう。

##### (1) 観測データ整理

観測データ整理とは、既存資料や本調査による観測データ及び気象庁アメダス等により得られたデータを次のとおりに整理することをいう。

データ	観測期間	収集項目	作成図表等
アメダス 観測データ	2013年度～2023年度 までの冬期間 (12月1日～翌年4月末)	気温、降水(雪)量 風向風速 積雪深	年度別月表
		風向風速	階級別風配図 階級別風向出現率表
定点気象 観測データ	2024年12月中旬頃～ 2025年4月下旬頃 までの期間のうち 計120日分	気温、降水(雪)量 風向風速 積雪深	年度別月表
		風向風速	階級別風配図 階級別風向出現率表
気象・雪氷 状況調査	2024年12月中旬頃～ 2025年4月下旬頃 の観測日 (計5回)	気温、風向風速 積雪深 降雨(雪)量 現道雪害状況 現道雪対策工	現地写真 状況図

##### (2) 気象特性の把握及び解析

気象特性の把握とは、本業務実施時に収集、整理を行ったデータから、本調査区域の気象特性を把握検討することをいう。気象特性は、風・積雪・気温・吹雪・地吹雪・現状の雪害状況等について把握、解析するものとする。

##### (3) 気象交通障害の予測

気象交通障害の予測とは、(仮称)新得スマートIC及び(仮称)新得PA建設予定区域の気象調査で得られたデータを基に、吹雪・地吹雪・斜面の積雪状況、吹きだまり形状、雪崩状況、近接する一般道路での雪害対策等により、気象交通障害の予測を総合的判断で評価し、予測を行うものとする。

#### 2-3 打合せ

本業務における打合せの回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め3回とするが、これ以外においても受注者は監督員と密接な連絡を取るものとする。打合せの検測数量は、一式とし、履行状況により打合せ回数が増減しても、打合せ費用の変更は行わないものとする。

また、打合せ方式は対面方式からオンライン方式に変更する場合がある。変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

#### 2-4 定点気象観測・気象状況調査 交通費・日当・宿泊費

定点気象観測・気象状況調査 交通費・日当・宿泊費には、現地調査、気象・雪氷状況調査、定点観測機器設置・撤去の現地業務に必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとし、測定項目及び数量が増減しても費用の変更は行わないものとする。

#### 2-5 技術業務 交通費・日当・宿泊費

交通費・日当・宿泊費には、打合せに必要な交通費・日当・宿泊費を含むものとし、調査項目及び数量が増減しても、交通費・日当・宿泊費の変更は行わないものとする。なお、打合せが対面式からオンライン方式に変更になった場合の費用については、別途監督員と受注者との協議し定めるものとする。

#### 2-6 成果品数等

成果品の部数については共通仕様書 1-4 5-5 「標準提出部数」によらず、下記のとおりとする。

(1) 報告書（紙 A4 版） 1 部

(2) 報告書（電子データ CD-R） 3 部（内、1 部 NEXCO 総研）

また、成果品（報告書等）の表紙は黄色で黒文字製本とする。

### 第3章 補足事項

#### 3-1 現地立ち入りについて

現地立入の際は、事前に監督員と十分な打合せを行わなければならない。なお、高速道路敷の立木等の伐採はできる限り行わないよう配慮し、伐採が必要な場合は、事前に監督員へ連絡し、その指示に従うものとする。

#### 3-2 補償費等について

受注者は、共通仕様書 1-1 8-1 「補償費等」に規定する補償費等について、支払う事態が発生した場合は事前に監督員に報告するものとする。

なお、支払単価については、別途監督員から通知するものとし、これら補償費等の支払いに要する費用については、別途監督員と協議するものとする。

#### 3-3 調査等実施中の安全の確保等

ヒグマ生息地内において現場作業を行う際に、安全対策としてハンターを同行させる必要が生じた場合、その費用については別途協議するものとする。

#### 3-4 除雪工の追加について

気象観測機器の定点設置位置までの移動に除雪が必要となる場合、その費用については別途協議するものとする。

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）  
支社長（所長） 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

（調査等名）

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2-1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

2-2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

3-1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3-2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3-3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（1. 契約保証取得の日の翌日）

（3-2. 受注者が設定した業務の終期）

以 上



道東自動車道 新得地区冬期気象調査

【様式－１】

1 設計業務

(履行期間) 令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 ( 日間)

項 目	日 程	計画準備	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備 考
			10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 設計計画																														
2. 既往資料（貸与資料）の確認・整理																														
3. 調査業務																														
準備及び跡片付け																														
現地踏査																														
気象・雪氷状況調査																														
定点気象観測機器 設置・撤去																														
定点気象観測																														
4. 技術業務																														
調査計画・立案																														
解析・取りまとめ																														
5. 施工への申し送り事項																														
6. 照 査																														
7. 報告書作成																														
8. 監督員による成果品確認																														
9. 電子成果品作成																														
10. 打合せ																														
11. 業務検査・完了検査																														

2 貸与資料

項 目	日 程	実施の有無	実施時期	実施会社名	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備 考
					10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. 管理用平面図		有 ・ 無	契約締結の日の翌日より7日以内																										
2. 横断面図		有 ・ 無	契約締結の日の翌日より7日以内																										
3. 構造物図面		有 ・ 無	契約締結の日の翌日より7日以内																										
4. 報告書等		有 ・ 無	契約締結の日の翌日より7日以内																										
当該区間にかかる供用路線建設時の調査関連報告書		有 ・ 無	契約締結の日の翌日より7日以内																										
北海道支社管内休憩施設概略検討		有 ・ 無	契約締結の日の翌日より7日以内																										
道東自動車道 新得地区詳細測量		有 ・ 無	契約締結の日の翌日より7日以内																										
道東自動車道 新得地区地質調査		有 ・ 無	契約締結の日の翌日より7日以内																										

3 関連業務

項 目	日 程	実施の有無	実施時期	実施会社名	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備 考
					10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
1. ○○自動車道 △△地区付加車線道路詳		有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月																										
2. ○○自動車道 ○○地区用地詳細測量		有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月																										
3. ○○自動車道 ◇◇地区用地詳細測量		有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月																										
4. ○○自動車道 ☆☆～○○間水文調査		有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月																										

4 関係機関協議

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
①交差管理者協議																												
道路	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
河川	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
鉄道	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
用水路	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
排水路	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
水道	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
下水道	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
電力	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
電話	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
②形式協議	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
③警察協議	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
④地元協議	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									
⑤その他懸案事項協議	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									

5 その他懸案事項

項 目	実施の有無	実施時期	対応者	○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			凡 例
				10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	
①○○に関する技術的検討	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	受注者																									
②○○に関する技術的判断	有 ・ 無	○年○月 ～ ○年○月	発注者																									

6 協議内容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

- ※作成上のポイント
- ① 適切な工程管理(履行期間の確保)を図ることを目的とする。
  - ② 関連する調査業務や設計業務ならびに関係機関協議による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間を圧迫することがないよう、資料入手・条件提示・対外協議の期限を明確化する。
  - ③ 協議時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、打合せ時期・内容に工程上の遅れがないか確認する。
  - ④ 照査の時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した照査作業が実施されているか確認する。
  - ⑤ 本工程表は作業計画書に添付するとともに、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計ミスの防止、品質の確保を図る。
  - ⑥ なお、本書式は固定のものではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用することを基本とする。